



(特非)山村塾

## 農山村における災害復興と持続可能な地域づくりを目指した「笠原復興支援センター」

一般助成

3年目

実践

合宿ボランティア参加者数  
(3ヶ月間×2事業)

13人

流通している  
棚田米

124.5俵

活動の全体目標に  
対する達成度

80%

### 課題

平成24年九州北部豪雨災害により、家屋や農林地に多くの被害を受け、人口減少や耕作放棄地の増加が急速に進んでいる。小学校の閉校も重なり、地域力が低下している。

### 目標

●合宿型の長期ボランティアプログラムに国内外の若者を募り、農林作業手伝いや地域活動への参加を通じた人材育成に取り組む(3ヶ月間×2事業)。●棚田米200俵の流通。●笠原復興支援センター立ち上げ。

### 活動内容

●合宿型の長期ボランティアプログラムに国内外の若者を募り、農林作業手伝いや地域活動への参加を通じた人材育成(3ヶ月間×2事業)。●環境保全活動リーダー研修(リーダーシップトレーニングなど)。●棚田米サポーター獲得に向けたイベントの実施(田植え、彼岸花ツアーなど)。●無農薬実験田46aの管理。●企業や学校、団体からのボランティア体験の受け入れ。●先進地(島根県有限会社グリーンワーク)の視察。



無農薬実験田での稲刈り祝！無事収穫

### 達成できなかったこと

日本人参加者、特にグループリーダー確保が難しかった。日本人大学生の休暇時期とずれていたり、広報に関して連携団体(NICE)のみに頼りすぎている。

### 今後の展望

ボランティア募集時に、農山村や農林業に興味のある人を、自団体でも広報し、活動を継続していく。

## 成果と工夫したポイント



### 成果

長期滞在ボランティアプログラムを2回行い、13名が棚田(46a)や耕作放棄地(1ha)の管理により、環境保全型農業を推進した。リピーター9名が活動をサポートし、アジア環境保全活動リーダーを育成した。

### 工夫

国内外の若者が長期プログラムに米づくりを手伝うことで、無農薬米生産に結びついている。